

佳作

西日本ごう雨

愛媛県 大洲市立久米小学校三年 清水 大和

ぼくがすむ、大洲市は、大雨でお友だちのお家や学校やお店やいろんな場所が大雨でつかってしまいました。ぼくのお母さんの仕事場もつかってしまいました。ぼくのじいちゃんの家もつかって大へんな事になりました。大雨の、音はすごい音でした。「ゴウゴウ」と鳴っていました。水がきゆうにたまりだしてぼくは、こわかったです。生まれてはじめてさいがいにあってこわい思いをしました。

水やガスがとまり、ぼくがすむマンションのエレベーターも止まってしまいました。水が、止まっておふるも、トイレもつかえませんでした。ごはんもつくれず大へんな思いをしたのは、はじめてです。生きていくために水は、大切な物だと思いました。スイミングスクールにシャワーをかりにいたり、しみんかいかんに生活用品をもらいに行ったりしま

した。はじめてのけいけんなのでいろんなことを大雨のひがいておしえてもらいました。お父さんの友だちやお母さんの兄弟から、水や日用品やパンとかをおくってきてくれました。ぼくは、「おじさんやおばさんはやさしい人だなあ」と思いました。ジュースや水がおくられてきたので、ひがいにあったお友だちにも分けてあげました。ぼくは、それが思いやりやたすけあいだと思いました。なぜなら、お友だちもみんなひがいにあった人たちだからです。水やジュースやパンなど分けあう物だとぼくは、思いました。ひがいにあった、じいちゃんの家をかたづけたりしました。あついで、なかなか家の中は、かたづかなかったけど、お母さんとぼくとじいちゃん三人でかたづけをしました。土水で、しょっきなものがだめになったりゆかもつかってしまい大へんになりました。ダイキとかもつかってざいりようがかいに行けませんでした。いくらかたづけても、土水がたくさんできました。今では、ざいりようがかいに行けて、じいちゃんの家の中もおちつきました。早く元の生活がしたいです。家が流されてひなんん生活をおくってる人たちもまだいます。ちっちゃい赤ちゃんたちもひなんんしています。ちっちゃい赤ちゃ

んたちがびょうきにかからないかがしんぱいです。おとしよりとかもからだをこわさないかとぼくは、しんぱいしています。かせつじゅうたくにはいれないう人たちもいます。ぼくは、はいれない人の気もちがかわいそうです。できることならはいれない人たちをはいらせたいです。大ずには、あべそうりだいじんさんがこられました。こんどは、てんのうへいかさまかさまもこられます。ぼくは、てんのうへいかさまにつたえたいです。早く元の生活とかにしてほしいとつたえたいです。野村町や吉田町うわじまの、みなさんも元の生活が早くおくれますように心からいのっています。さいがいは、こわいものです。二どとさいがいがおこりませんように、心からいのっています。みんなで手と手をとりあってがんばりたいです。